

ほっと

第12号

1995. 8. 9 発行

定価30円

編集責任者 堀部 正
 発行 編集部
 連絡先 「ほっと」 堀部 正
 〒810-0841 大分県大分市高田四丁目一〇号
 代表 多田 道夫
 〒810-0841 大分県大分市高田四丁目一〇号
 電話・FAX 〇二二-276-4444
 郵便振替 〇二二-76-4444

「寄り合い場」から「拠り所」へ

— 本格的な活動を開始しよう —

多田 道夫



「ほっとスペース王子」も開所してから二ヶ月が経ちました。今までの期間とはにかく無我夢中の中で時が過ぎました。東京都

「ほっと」オープン後の女性部の1-5分 (1995年5月20日)

現状は、毎日延べ十人以上の仲間たちが「ほっと」に立ち寄り、各人各様の使い方をしているところといます。言ってみれば「みんなの部屋」としての役割を果たしています。集まってきた仲間たちは食事会に参加したり、皆で日頃の生活のことを話合ったりしているとところです。最近では一週間

社会福祉振興財団から助成金があることになりました。これからは「ほっとスペース王子」の夢である「精神障害者」にしかできないことを本格的にやって行かなければならないと思います。

に、回反省会を開いています。

「ほっと」の主旨である仲間同士を支えあう、医療に代わって仲間のことを考え、行動するという本格的な事業に移って行きたいと考えています。たとえば今まで「ほっと」に相談を寄せてきた仲間に対して、今度は私たちの側から公に行くと、とにかくもつと突っ込んだ実践をしなくてはいいと考えています。今の「寄り合い場」としての良さを保ちながら、外に打って出ていくのは大変ですが、少しずつ実践を通して私たち自身が勉強しながら「ほっと」を強めていきたいと思っています。

全国の仲間たちの解放と自立をめざした活動と結びつきながら頑張ります。

生まれて始めてもらった賞は感激!

赤井 勝



今日初めて参加して楽しかったです。賞をもらったのは生まれて始めてだったので格別に楽しかったです。賞の名前は「ほっとスペース賞」という「ほっとスペース王子」のカラオケ大会では最高に名誉ある賞だそうです。今後、行事や

と友達になりたいと思います。

「それぞれの歌にその人らしい感情がこもっていた」(龍)

「始めから段取りをうまくやって公平に歌えるようにしたかった」

(夏日次郎)

ウツブンば

って楽し

(田宮登美子)

つばい参加

良かった

としては

くさん歌

かった」

(桑本貴一)

「毎日暑い中『ほっと』に来て頑張っ

ています」(田川 信)

「『ほっと』で食事会があることが一

参加者の感想集

日の生活

にとつて

よいリズム

ムがある」

(田中徹)

「最近、

活動報告

や伝票を

つけるよ

うになっ

て充実し

ていて自

信になっている」(遠山)

「いつも『ほっと』で食事を作っているが、人に作ってもらって食べてみ

て、こんなにおいしいとは思わなかつ

た」(佐伯)

「東京都社会福祉振興財団の助成金が



今回は廊下にはみ出さないで、広々としたカラオケルームで絶唱、熱唱、絶叫と物静かな語りも

—「ほっとスペース八王子」第2回カラオケ大会23名の参加—
堀部 正



『たまり場』で終わらないように皆
「ほっと」が単なる
気分が悪くなつて事
務所での待合わせだけ

おりることになって、これからが本
番だと思ふ。『ほっと』が単なる

で協力しあつて、これからの『ほっ
と』を考えましよう」（多田）
で、あるいは食事会だけで帰られた参
加者もいました。また、カラオケでは
歌わない方もいました。でも、
参加者のみなさん全員が楽しく
集えたものと思います。

さて、恒例の編集部からの総
評と寸評を掲載します。前回は
ふと感じてはいましたが、今回
のカラオケ大会で確信できた感
想として、歌われる皆さんが現
在の想いを歌に託そうとして選
曲されているのだな、としみじ
みと感じました。上手、下手で
はなく、その想いを歌に託し
て、どれだけ自分自身を奮い立
たせようとしているのか、ある



いは歌に自分を投影してある方は
酔っていたり、悲しみや苛立ちを込
めたり、焦りを表現している方もお
られるようでした。もちろん、純粋
に楽しんでる方やみんなにどうし
たら受けるかだけを考えて選曲して
いる方もおられるようでした。寸評
は八頁に掲載しています。

思い出にかえながら

佐伯 佑

とうとうと流れゆく
時の流れの中で
自分が歩いてきた道を
そつとふりかえつてみる

悲しかった日
苦しかった時
幸せだった日々
いろいろあった

でも、もうそれとも
思い出にかえて

とうとうと
流れゆく時の波間に
自分をゆだねていこう

一日一日大切に
残された日々を
歩いていこう
ひとりじゃあないんだって
今わかった
子供のためにも
仲間のためにも
もう少し生きていつてみよう

桑本貴一の詰め将棋

(解答)

3 1 1角、1 1
2王、1 1 3
香、同桂、2 1
2金まで。

5	4	3	2	1	
			王	王	1
			王		2
		金		香	3
			香	香	4

持ち駒 角、金、香

僕の親友 夏目次郎君3

桃山桃源

「ほつとスペース八王子」に僕の親友、夏目次郎君がどうにかお願いして来てくれた。夏目君はカラオケには二度目の参加。「ほつとスペース八王子」の全体会へは三度目の参加である。今回のカラオケ大会は、事務所からそう遠くない場所で行われた。夏目君が歌ったのは郷ひろみの歌。僕はその中で「夏目君に勝てる」と確信した。結果は予想通り前回は夏目君がもたらした「田駄でナイトウ賞」を獲得し

た。それでも実力のある夏目君は「ユーモア賞」をとり、風格を見せつけていた。最後に疲れると黒いものが怖くなる僕に対して黒いものの冗談を言い、僕が冗談できりかえすと、夏目君はそれを上段の構えで冗談をきりかえしていた。夏目君がいたせいか、一口が冗談の様な「ほつとスペース八王子」カラオケ大会であった。



「精神障害者保健福祉手帳」は誰のためのもの？

—「ほっと」討論会報告—

現在、厚生省は八月の下旬に全国五ヶ所で説明会を開いて、「精神障害者」の意見を聴いたということにして十月一日から「手帳制度」を強行施行しようとしています。私たちもこの手

また新たな劣等感に苦しめられるのか

帳問題に重大な関心を持っています。「ほっと」にも反対の人も賛成の人もいます。この日の討論会でもさまざまな意見がでました。

「自分は『精神障害者』として堂々と生きているのだから手帳が欲しい」「手帳が悪くて障害年金や生活保護が良いというのはおかし

い」というのが賛成論です。一方反対論は「就業禁止、欠格条項、強制入院制度などいまでもさまざまな面で管理されているのに、それがさらに強められる」「働けるか働けないかで仲間同士でも差別を受けているし、劣等感を持たされてきた。今度は手帳制度で洗



まう。堂々と生きているほど社会は私たちを理解していない」などです。これからもっともつと議論し、手帳に関する「ほっとスペース八王子」の見解を出せるようになりたいと考えています。とにかく、「精神障害者」の声を一切聴かないで進められている厚生省の対応には反対ということで、継続討論ということになりました。

「どうして、無縁仏でいけないの」 「なぜ家族や兄弟のキズナに幻想を持つのか」

—「平野さんの死」をめぐる「ほっと」11号記載の記事への読者の意見—

表記のような主旨の読者からの意見が寄せられました。私たちの「ほっと」を貞剣に読まれ、批評までしていただけることに心から感謝します。でも、感謝しながら以下のような私の反論を加えることで腹を立てられ、「もう支援しない」ということにならないか

という心配をしています。その感情的な部分を指摘が、あくまで私は、読者の議論に対してであつて、読者の人格を批判しているわけではありません。さらに、あの文章は平野さんの亡くなった直後に書いたものだったので、極めて感情的なものになっていました。反省しています。

異論を加えている読者も

私自身はおかげさまで、病とのたたかいに勝利できたということで、いまでは「精神病」を患ったことを感謝しています。だからとも言えるのかも知れませんが、私は無縁仏でも構わないし、家族や兄弟あるいは夫婦のしがらみにも依存しないで独立した存在と

して生きていける「精神障害者」だと自負しています。しかし、そのような生き方ができるのはまだまだ一部にか過ぎません。平野さんの場合でも、何度も何度も裏切られながらも、しかし平野さんにとってはたった一人の兄貴なのです。他人に対するのとはまったく違う思い入れがある兄貴なのです。表記の意見を述べられた方は、まだ「精神障害者」の置かれている現実をご存知ないのではないかと思います。

ます。

私たち「精神障害者」には兄弟や親類の結婚式への招待状が届きません。また同じように不幸があつても、法事への招待もありません。私たちは家族たちからは存在してさえ

(七頁につづく)



いなかったように扱われる存在です。そのような存在が、家族関係などの小さな枠にとられるのは狭量ではないか、という主旨の議論は少し的外れではないかと思うのは私だけでしょうか。一人の人間として成長していく過程で人はまず家族という紐帯を形成するものです。そして、社会に出ることで家族という紐帯だけにとられず、その人が結ぶ社会的な関係の広さや深さに対応した新しい紐帯が形成されるものと思っています。

しかし、その場合にも個人的なたとえば夫婦という関係は社会的な関係が広くあろうと、深くあろうとそれはまた社会的な関係に対応しながらも独特な形成をたどるように思います。そして、家族との関係におい

ても同じようにその人の結ぶ社会的関係に影響を帯びたものが再形成されるのではないかと思うのです。

であるならば、平野さんに典型的に見られるように家族という紐帯が発病と同時に切断されている「精神障害者」にとつて家族的紐帯を超越するということが現実的にありうることで

しょうか。発病を根拠にして離婚が成立する法制度や考え方が大手をふつてまかり通っている現実のなかで、結婚願望をする「精神障害者」が多いという事実を一笑にふすのでしょうか。夫婦関係や家族関係を超越するという意味さえ感覚的にも論理的にも理解する前提が壊され、奪われている「精神障害者」にとつて、そのような議論は空論なのです。

私自身、「平野さんの死」をめぐる

て彼の兄個人を責めているわけではありませんし、それは兄個人の責任でもないと思います。お兄さんに理

解をしてもらいながら、お兄さんのような存在が当たり前であるかのような現実の差別社会にこそ責任を求める必要があるように思うのです。

「精神障害者」の真の共同性を形成するには、家族的、社会的紐帯の再形成に基本的に責任を負えない補てんを根幹から破壊するしかないでしょう。死にたくなるほど、差別者を殺したくなるほどこの差別社会から痛みつけられたことのない生活を送られている方にはやはりこのような考え方は「過激」だとか、「暴力は嫌い」だとかのきれいな事で済まされてしまうのが悲しいのです。再反論を期待しています。

桑本 貴一	時間はお前よ	「ゲゲゲの鬼太郎」以降の歌が上手に歌えるということに感激しました。
相澤 圭	無縁歌	自分の世界に入り込んだ他人には面白くも何ともないもの
多田 裕子	北の漁場	ちょっと調子が悪かったのが今回はええませんでした
小池 郁子	銀座カンカン娘	可愛らしさあふれる心情を歌いました。いまはバイバイしているブギのリズムが若い人にも受けたようです。
美木 貴一	ムンジャンダンス	
阿武 悠夫	野郎道（のあそう）百万両のバラ	男の情懷あふれる歌の通称はなぜ？
加藤 晃司	Evergreen	歌と言うよりは語りでしたが、後で現在の心境が歌われていました。
鈴木 孝	津軽海峡冬景色	無難な曲だったけれど、それとも何か思い当が込められたものなのか
夏田 道夫	釜山港へ帰れ	かれにこんな歌も歌えるとは驚き
夏田 次郎	哀愁のカサブランカ	極度のコミュニケーションに、参加者全員が嘆息（憤然？）としていた
西山 隆雄	フッパフッパするんです	相愛らずのウケ狙いがフッパエ
狭間 哲也	北橋端	
早乙女 百合子	雨上がりの夜空に	
国谷 夜美子	アンコ梅は色の花	連れあいのとの恋
中村 浩一	恋人も涙れる曲角	難しい曲をうまく歌いこなし、度々女への想いをしみじみと歌っていました。
桑月 若菜	これからのI love you	彼女の愛する人へのメッセージ
小宮山 和男	How was today	
若井 孝	北橋端	愛しい心臓がにじんでいます。
藤山 健三	智 恵	男仲間、飲み仲間と歌った恋心が壊れてしまいそうな
藤井 均	愛は勝つ	自分を慰めたいせよと努力しているさまがうかがえます。
井上 浩子		（パスしました）
岡 義一		（パスしました）
目黒 由紀子	泣きたくるほど	初めて参加でしたが、なかなかのものでした。

7月活動日誌（7・14～8・7）

7・11昼食会、夕食会

15女性部総会、「ヤングはっとスペース」勉強会

拡大交流会

16「はっとスペース八王子」昼食会、カラオケ大会

17昼食会、夕食会、ニュース放送

18昼食会、夕食会、ニュース放送

関口新聞取材

19昼食会、夕食会、ニュース放送、八王子市障害者福祉協議会

八王子市社会福祉協議会連盟

20昼食会、夕食会

21「精神障害者手帳」研究会、昼食会、夕食会、反省会

24昼食会、事務局会議、夕食会

25東京福祉社会福祉協議会連盟、昼食会、夕食会

26昼食会、心の健康フェスティバル準備会参加、反省会

27昼食会、夕食会

28昼食会、関口新聞取材、夕食会、

「はっとスペース八王子」全休会

31反省会、夕食会

8・1東京福祉社会福祉協議会連盟、昼食会、夕食会

2反省会

7夕食会

編集後記

今月は「はっとスペース八王子」

にとつて試練の月でした。開所して

二カ月して、多くの仲間には「寄り

合い場」として機能していた「はっ

とスペース八王子」の事務所を本格的

な活動拠点の事務所として「拠り

所」として再出発する月だったから

です。でも、セクハラ討論会、

「はっとスペース八王子の今後」討

論会、「精神障害者手帳」討論会な

どの「精神障害者」が地域で生活す

る上で必要な問題を徐じよにではあ

りますが、「はっとスペース八王

子」の仲間同士で議論する習慣も今

後続けていきたいと思ひます。そし

て、外へ向かった活動も焦らない程

度に進めていきたいと思ひます。